

早瀧比咩神社通信

発行所：早瀧比咩神社
総代会 玉野市滝773番地
不定期発行
編集：葛原

茅の輪くぐり 夏越祭で息災願う

コロナ菌も一掃

7月28日猛暑の夕方、早瀧比咩神社本殿で「茅の輪くぐり祭」を執り行いました。夏越祭は新年の始まりから半年間に身についたけがれを清め災厄を祓い息災を願う行事です。

午前八時から全役員手分けして茅の輪準備や家庭にお持ち帰り頂く魔除けの小さい茅の輪制作などを完了し午後七時前から役員の仕事のあと、祭典を始め氏子の皆さんの輪くぐりを行いました。

当日の感染防止策としては、マスク着用やアルコール消毒液の設置、押

殿内の換気は出来ました。残念ながら、密を避けるため番号札を準備して一回に輪をくぐる人数を制



茅の輪くぐりに励む役員

限して行うつもりでしたが、うまく回らなかつたので次回からの課題です。宮司さん先導による輪

くぐり後はお祓いを受け、



茅の輪くぐり神事

す。お土産も少々お持ちかえり頂きました。前日の27日朝早くから役員数名にて茅刈りを行

いました。昨年までは井

お神酒やご洗米もお一人ずつ個人専用容器を用意し対応しました。参拝者から持参されたお名前と年齢を書いた紙の人形も祭壇にて清めました。お家に持ち帰りの魔除けの茅の輪もアルコール消毒を済ませたもので



向拝前に移設した茅の輪

例年は祭事の後に茅の輪を処分していましたが、昨年からは、神社屋外の境内向拝前に移設、倒壊

防止対策を講じて三日間

指地区の鴨川からオガヤを刈り取っていました。今年は石ノ脇地区の休耕田に自生しているメギャを刈取り、使用しました。参拝者の皆さんから美しい茅の輪の出来栄えと好評でした。参拝者は昨年より多かつたようです。

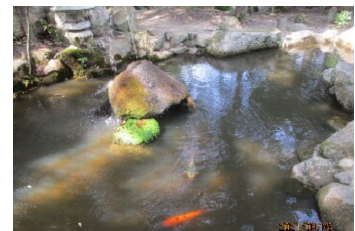
噴水池清掃

保存し、当夜都合の悪かつた皆さんの便宜を計りました。輪をくぐる順序を説明版上に提示しお待ちしました。なお、ご家庭にお持ち帰り頂いた茅の輪は外部からの魔厄除けですので、ご家庭内ではなく屋外玄関付近に置いて下さい。

8月1日月次祭の後、午前八時からお宮役員が集まり約三時間掛けて、恒例の噴水池の清掃を行いました。昨年来、池上



噴水池の清掃作業中



清掃完了後の噴水池

今年は何故か多くのシラサエビが生息しているのを見つけました。清掃後は滝川の水をポンプで汲み上げて池を満たしました。鯉の捕獲と再放流のときに暴れて多少手間取りましたが、噴水の元栓を切替え、池を満水にして終了しました。鯉たちはより良い環境で快適に過ごしてほしいです。

あごがき

全国、コロナ禍を理由に伝統行事の中止が相次いでいます。巷間さやかれています。この状態が長く続くこと正常社会に戻ってもそれらの実行が出来なくなる懸念があります。当地区でも子ども会行事やお神輿の巡行やシャギリ雅楽の継続が危惧されます。(編集士)

特集 早瀧比咩神社祭神

日本全国あらゆるところに八百万の神々が存在し、住民はそれら神々に囲まれお陰を受けながら暮らしています。それら神社には「祭神が祀られ、それぞれお祭りが行われ

ています。その中から、早瀧比咩神社にはどのような祭神が祀られているのか気になります。当神社には、瀬織津姫命(せおりつひめのみこと)、速秋津姫命(はやあきつひめのみこと)、天吉葛命(あまのよきづらのみ

重なる存在ですので、大切にお祀りしましょう。この「根の国、底の国」の罪がれを飲み込んでくれる「ようす」です。天吉葛命は火の災いを納めてくれる女神と言われますが、この女神を祀っている神社は日本全国でも数少なく貴重な存在です。大切に祀りましょう。

りがよくなっています。池の水をポンプで汲み上げて滝川へ戻し、錦鯉二匹を一時捕獲したあと高圧水洗浄機、帚や棒擦